

I 調査概要

1.1 調査目的

本調査は、諸外国の地域における障害者のスポーツ振興、学校における障害児・者の体育・スポーツ活動への参加実態、大学を拠点とした障害者スポーツの振興状況等を把握することにより、今後の日本の障害者スポーツ普及のための方策検討における基礎情報を得ることを目的とする。

1.2 調査方法

(1) 調査方法

ヒアリング調査

地域の障害者スポーツの振興状況について、関係者への直接面接調査及びインターネットを利用したテレビ電話によるヒアリングを実施し、3か国の事例をまとめた。

(2) 調査対象国

近年のパラリンピック開催国のうち、地域の障害者スポーツの推進体制が整っており、パラリンピックのレガシーとの関連が伺える以下3か国を対象とした（図表1-1）。

図表1-1 ヒアリング調査対象国の基礎情報

	イギリス	カナダ	オーストラリア
パラリンピック開催年	2012年	2010年	2000年
パラリンピック開催都市	ロンドン	バンクーバー	シドニー
開催大会	夏季大会	冬季大会	夏季大会
面積	24.3万 km ²	998.5万 km ²	769.2千 km ²
人口	約6,460万人(2014年6月)	約3,540万人(2014年7月)	約2,391万人(2015年10月)
首都	ロンドン	オタワ	キャンベラ
政体	立憲君主制	立憲君主制	立憲君主制

参考：外務省（2015）ウェブサイト等より作成

(3) 調査内容

主な調査項目は、以下のとおりである。

- ・ 地域における障害者スポーツの実施体制
- ・ 学校における障害児・者の体育・スポーツ活動への参加
- ・ 病院、リハビリテーションセンターと連携した障害者スポーツの振興
- ・ 大学を拠点とした障害者スポーツの振興
- ・ パラリンピック開催前後における障害者のスポーツ環境の変化

(4) 調査期間

1) イギリス

- ・現地調査：2015年7月23日～28日
- ・スカイプ調査：2016年6月16日、6月23日

2) カナダ

- ・現地調査：2015年9月10日～15日
- ・スカイプ調査：2016年5月18日

3) オーストラリア

- ・現地調査：2015年10月6日～12日
- ・スカイプ調査：2016年5月19日

【通貨換算】

本報告書で紹介する3か国の予算などの日本円表示は、以下の通貨換算を用いている（図表1-2）。

図表1-2 海外通貨換算表

国	通貨単位	単位当たり円換算額（円）
イギリス	ポンド	181.45
カナダ	ドル（カナダドル）	90.63
オーストラリア	ドル（オーストラリアドル）	87.21

2015年12月1日時点の為替レート